

小田川っ子



平成27年度
白河市立小田川小学校
平成27年10月9日(金)
第23号(70号)
発行者 校長 小檜山 健

東北中学校区PTA連絡協議会主催

ノーマディアに関する講演会「命と未来を守るために」

9月26日、東北中学校区PTA連絡協議会主催による「ノーマディアに関する講演会」を開催しました。今年度は、本協議会の事務局が小田川小PTAになっており、東北中学校区で進めている「ノーマディアデー」の取組をさらに充実していこうということで、茨城県メディア教育指導員の先生をお迎えしての学習会を設定しました。保護者の皆様におかれましては、お忙しいところ多数ご聴講いただきありがとうございました。



前半は、「気をつけよう！インターネット～あなたの命と未来を守るために～」のテーマのもと、4・5・6年生の児童と保護者を対象にした講演会でした。子どもたちは次のことを学ぶことができました。

- スマートフォンのアプリへの同意により個人情報が漏れてしまうことがあること
- ネット上に写真や個人情報を許可なく載せないこと。写真のアップで場所が分かってしまうこと
- LINEによって友人関係のトラブルが起きやすいこと
- インターネットにつながるゲーム機や携帯用音楽プレイヤーのフィルタリングの重要性など

ネットは良い所と悪い所がある。間違った使い方をするとう人に迷惑がかかり、命をうばうこともある。「ネット依存」は病気と同じ。フィルタリングは守ってくれるので絶対に必要。(さん)

ゲームは、体に悪いし、授業中にも集中できないから時間を決めてやるようにしたい。ネットで友達の写真のをのせると友達が傷ついたりおこったりするのでやめた方がよい。(さん)

後半は、保護者を対象にした「子どもとインターネットを考える～子どもの命と未来を守るために～」と題したお話でした。

- 情報モラルやリテラシーがまだ十分身に付いていない子ども世代には、親がフィルタリングの機能制限をかけ、自分の子どもの危険を回避してあげること
- ネットゲームには、レーティングという年齢制限区分があること
- ネットゲームにより、ゲームと現実の世界の区別がつかなくなってしまうことがあること
- ネットゲームは、飽きさせない仕組みになっていて、ネット依存に陥りやすいこと
- ネット上の世界でも「だます」「盗む」は、ダメであること

私達親も知らないことが多かった。ネット社会ですが、家では子どもにゲームは持たせていません。携帯ゲームを持たせない勇気をこれからも(ネットを使う時が来るまで)貫き通したい。家庭教育の大切さも感じた。子どもの話をよく聴いて認めてあげてないと外に求めてしまうかもしれない。(保護者様)

ネットは今の時代には欠かせないものとなっている。もう一度使い方を一から考え直したい。家にはゲーム機がたくさんあるので、やる時間を決めて守らせている。また、フィルタリングもきちんとしていきたい。ネットについて改めて考えさせられた。とても勉強になった。(保護者様)

最後に、先生からは、「失敗しながら学んでいくのが子どもであること。したがって、子どもが困ったら相談できる親子関係にあること」や「親がメディア接触に対するあるべき姿を示すこと。親が変われば子どもも変わる」「ネット上に生きる子どもたちに、『人としての土台づくり』をしてやるのが親の責任」など、家庭教育に関わる重要な提言がなされました。

今回の講演会をきっかけに、親子でメディアへの接触について話題にいただき、子どもたちの健全育成にとって、よりよい環境づくりが推進されるようよろしくお願いいたします。

